

異臭問題

回覧でお知らせしていますが本誌にも掲載します。

小松原地区住民の皆様へ

平成 27 年 3 月 11 日

山下水産株式会社

代表取締役 山下勇治

消臭装置設置のお知らせ

早春の候、平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

早速ですが、現在の状況についての報告致します。

4月末完成予定で、消臭装置を設置することになりました。

工事期間中、騒音等ご迷惑をお掛けすることと申します。

よろしくお願い致します。

昨年来より、大変ご迷惑・ご心配をお掛けしましたことを心よりお詫び申し上げます。

引き続き倍旧のご厚情を賜りたく、切にお願い申し上げます。

豊田高校だより

豊田高等学校の取組
～姉妹校との交流～

教頭 森岡 達治

前回、小松原自治会広報誌「七味」で、平成25年12月に姉妹校締結した台湾・新竹市立香山高級中學（以下「香山高中」）から2月上旬に本校を訪問したいとの打診があったことを紹介しました。前回から約3か月を経過しましたが、実際に2月5日に、職員等10名・生徒19名の訪問を受けました。今回は、そのことについて報告したいと思います。

（不安だらけのスタート）

事前の香山高中からの希望として、2月5日または6日の10時から15時まで訪問したい、日本の学校の昼食風景を知りたいので本校生徒と学校で昼食を共にしたい、部活動の様子を見たい等がありました。5時間という長時間、2月3日に入学者選抜（I）（推薦入試）があり6日に結果通知という推薦入試の日程と重なること、香山高中の生徒・職員の昼食をどうするか、部活動を見たいという希望へどう対応するか、そして何よりも言葉が殆ど通じずコミュニケーションが取れない中で友好を深めることができるのかなど、無事受け入れることができるのか非常に不安でした。

言葉が通じないことは、事前の準備においても大きな障害となりました。言葉が通じないことで香山高中との事前の打ち合わせや連絡は電話を使っては不可能なため、リアルタイムには連絡の取れない（やり取りに時間を要する）英語による電子メールでのやり取り以外に方法がなく、非常に不安なものでした。

そのような中で、いろいろな交流メニューを考えましたが、1月後半になってようやく、軽音楽部の演奏・茶道部の活動・PTAによる餅つき・ゲームによる交流を行うこととしました。また、昼食は広島県の名物であるお好み焼きとすることとしました。また、香山高中への土産には廿日市市が発祥の地と言われる「けん玉」を贈ることとしました。

これらの中で、翌週にロードレース大会の炊出しがあり2週連続の行事となるPTAの方々や茶道部の指導者の方、事前学習や当日の通訳を引き受けてくださった広島大学大学院生の方、物心両面で支援をいただいた同窓会長など、無理なお願いを快く引き受けて下さった皆様には深く感謝すると同時に豊田高等学校が様々な方に支えられていることを感じました。

（交流）

一行のバス到着を生徒会執行部が出迎え、体育館に誘導しました。緊張の中での対面でした。



体育館では、開会行事の後、午後からのティーボール（野球を模したゲーム）のチーム分けに合わせて日台混成の6つのグループに分けました。この6つのグループ内でお互いの親交が深まることを願いました。この6つのグループごとに分かれて座り、本校軽音楽部の演奏、香山高中の演奏と紹介ビデオ

お互いに躊躇する様子で生徒たちの交流はなかなか進みませんでした。



体育館での交流後、中庭に移動し、餅つき体験を行いました。台湾にも一部つき餅があるようですが、主流は粉からの練り餅で、生徒だけでなく謝校長先生までもが体験されました。また、本校の生徒からも日本代表の意気込みでついたり相の手を行う生徒も現れました。餅つきと並行して、一行を二つのグループに分けて茶道体験も行いました。その後、最初の6つのグループに分かれ、教室で一緒に昼食をとりました。学年によっては、机を丸く囲んで一緒に昼食をとるグループもありました。



午後からは、再び会場を体育館に移し、ティーボールを行いました。途中からは、PTAの方々も一緒に観戦していただきました。日台混成チームでともに体を動かすことで、言葉は通じなくてもお互いの距離感がぐっと縮まりました。

ティーボール終了後は、閉会行事として、両校の記念品贈呈や生徒間のプレゼント交換等を行いました。香山高中の謝校長は、私たちと共に昼食をとる中で豊田高等学校の保護者の支援体制は素晴らしい、豊田高等学校がうらやましいと述べておられました。閉会行事においても、謝校長より本校のPTAに対してもお礼の言葉が述べられました。さらに、両校職員の記念撮影では、謝校長の発案でPTAも一緒に撮影することとなりました。



全校の記念撮影後、最後の交流の時間を設けました。両校が入り乱れあちらこちらに輪ができ、5時間で一気に距離間が縮まったことを感じました。その後、全員でバスを見送り交流行事は終了しました。



本校にとって初めての姉妹校との交流会でした。最初は乗り気でなかった生徒も少なからずいましたが、交流行事の中で様々なことを感じたものと思います。グローバル社会に対応した人材の育成という面もありますが、気の乗らないこともやってみれば楽しいことや達成感を味わうことがたくさんあることを知るよい機会になったのではないかと思います。

来年度、本校2年生（現1年生）が修学旅行で台湾を訪問する予定です。これからも、両校の友好関係が深まるとともに、急速に進展するグローバル化の中で抵抗なく対応できる人材づくりにつながることを願っています。

今回の香山高中の来校は、長期休業（春節：旧正月前後の休業期間）を利用した希望者による日本国際教育旅行の中で行われました。この旅行は毎年実施されているようです。昨年度も来校の打診があったのですが、希望者が少なかったことと姉妹校提携締結直後で本校の受入れ態勢ができていなかったこともあり中止となりました。しかし、今年度の結果を踏まえて、今後は来校が恒例化することも予想されます（来年の春節は、本年より10日あまり早い時期となります）。その際は、地域の皆様方の協力も得ながら取り組んでいくことができればと考えています。ご協力のほど、よろしくお願いします。

